

## 実用化 事例

# 納豆記念碑の製作支援

【相手先企業】 茨城県納豆商工業協同組合

### 【 目 的 】

納豆の製造量は全国の半分以上を県内企業が占めており、消費金額も常に全国の最上位にあります。また、水戸と言えば「黄門様」や「納豆」が全国的に有名です。

これを背景に、茨城県納豆商工業協同組合で、納豆県の県都水戸市を全国にアピールし、水戸の納豆、茨城の納豆のイメージアップを目指して記念碑を建立しました。

### 【 内 容 】

茨城県納豆商工業協同組合では記念碑製作の実績や経験ノウハウがないため、製作や設置に関する支援を要望され、下記要求に沿った記念碑をデザインし製作しました。

- 1) 水戸納豆を観光客にアピールしたい
- 2) 設置場所は水戸駅デッキを希望
- 3) 県産の御影石でイメージアップしたい
- 4) モチーフは昔ながらの藁納豆にしたい
- 5) 水戸納豆の由来も紹介したい
- 6) 水戸市に寄贈し、観光シンボルとしたい

### 【 結 果 】

記念碑製作においては、石材業など関係組合を斡旋し、製作の打ち合せ会議に参加、製作サイズや形状プロポーショナルを提案し、全体をコーディネートしました。

納豆本体は高さ 1.9m×幅 0.6m で、観光客が記念撮影することを想定し、人間より大きなサイズのサイズとし、また、駅出口からでも確認できるよう台座を含めた高さを 2.4m としました。記念碑本体は、藁の素材感や納豆粒をデフォルメし、観光シンボルとしての面白さ・ユニークさを銅板で表現しています。

製作した記念碑は、納豆の日（7月10日）に除幕式が行われ、JR水戸駅南口のペデストリアンデッキに設置後、水戸市に寄贈されました。

茨城県納豆商工業協同組合は、毎年、納豆の日でイベントを行っており、来年からはJR水戸駅南口のペデストリアンデッキで開催し、納豆記念碑をシンボルとしてさらに水戸納豆の普及に努めたい意向があります。



7月10日 除幕式風景

基礎となった事業 平成20年度 試験研究指導費（標準）

現在の担当部門	工芸技術部門	部門長 佐藤 茂	TEL : 0296-72-0316
	食品バイオ部門	部門長 長谷川 裕正	TEL : 029-293-7497